

記事掲載：2022年6月

翻訳：2022年6月

2億2,200万人の子どもたちの夢



私たちを取り巻く紛争は激化し、[気候変動](#)は武力紛争と強制移住を引き起こしています。また、世界的な[パンデミック](#)は命を奪い、子どもたちを学校から遠ざけ続けています。さらに懸念されることは—最新の報告書「[攻撃される教育 2022 \(Education under Attack 2022\)](#)」^{※1}で明らかになったように—子どもたち、教員、学校が、かつてないほどに命を脅かす攻撃の犠牲になっていることです。

技術や医療など多くの分野で人類は進歩していますが、道徳、倫理、国際法といった人間性を定義づける最も基本的な分野では、恐ろしいほどの後退を遂げています。この後戻りの矛先は、子どもや若者に向けられます。

ECW が実施した綿密な[調査](#)では、世界中で約 2 億 2,200 万の学齢期の子どもたちが危機の影響を受け、教育支援を必要としていることが明らかになっています。この調査は、INEE、UNESCO、ユニセフ、UNHCR、IDMC、ECW、Global Education Cluster といった組織が参加する、[「緊急時の教育デー](#)

[タに関するリファレンスグループ（Reference Group on Education in Emergencies Data）](#)』によって行われました。

ECW は、立ち上げたばかりのスタートアップ基金から、国連における本格的かつ画期的な国際基金へと急速に成長しました。[新型コロナウイルス感染症](#)への対応で 3,000 万人の少女と少年に手を差し伸べ、緊急事態や長引く危機の影響を受けた [500 万人の子どもと若者](#)に、包括的で質の高い教育を提供するために資金を拠出しています。私たちは ECW 信託基金に [10 億米ドル](#)以上を動員し、共同プログラムを通じてさらに 10 億米ドルが支援プログラムに拠出されました。しかし、残虐な紛争、強制移住、気候変動による災害の影響を受けた 2 億 2,200 万人の子どもと若者に支援を届けるには、資金が足りないのです。

私たちのビジョンとミッションは、何年も何十年も教育を待つことはできない何百万人もの子どもや若者に、包括的かつ継続的に質の高い教育を提供することです。私たちは、誰一人として置き去りにしないという国際的な取組みをしています。

紛争を終わらせ、平和をもたらすという 2 億 2,200 万人の夢について話したいと思います。気候変動に終止符を打つ可能性を秘めた 2 億 2,200 万人の想い。2 億 2,200 万人の若者たちは、その苦しみから、自分の人生や地域社会、さらには世界を変えるために、並外れた回復力（レジリエンス）を身につけることを求められています。

この 2 億 2,200 万人の子どもたちは、さまざまな教育のニーズを抱えています。約 782 万人（このうち女性 は 54%です。また、17%が障害を持っており、16%が移住を強いられた人々です。）が学校に通っていません。また、1 億 1,960 万人が学校に通っているにもかかわらず、低学年までに読みや数学の最低限の能力を身につけることができないでいます。さらに、学習レベルに関する前述のデータは、新型コロナウイルス感染症パンデミック以前のものです。初期の分析によると、パンデミックによる学習の損失は、最も経済的に困難な人々と、パンデミック以前にすでに学習面で遅れをとっていた人々の間でさらに顕著になっています。この 2 つのカテゴリの中には、危機に直面している子どもたちが含まれています。

世界は平和への投資、地球への投資に失敗しました。そして、国際法の執行への投資に失敗しました。私たちは、人類への投資に完全に失敗していいのでしょうか？

ユニセフの[キャサリン・ラッセル](#)事務局長は、今月、インタビューで次のように語っています。「もし私たちが行動を起こさなければ、子どもたちが最も高い代償を払うこととなります。しかし、私たちの社会や経済も、今後何十年にもわたってその影響を受けることになるでしょう。」

今こそ、変化の時です。共に具体的な行動を起こす時です。私たちが決める優先順位が、私たちの未来の転換点を決定します。

このような深刻な背景のもと、ECW は ECW 信託基金への追加の資金拠出を訴えるため、[#222MillionDreams](#) という国際的なキャンペーンを立ち上げます。このキャンペーンは、2023 年 2 月 16~17 日にジュネーブにて、スイスと ECW が共同でホストし、ドイツ、ニジェール、ノルウェー、南スーダンを含む戦略的パートナーが共同開催する、ECW のハイレベル増資会議に先駆けて行われます。

独自評価と共同プログラムにより、ECW とそのパートナーが迅速かつ重要な成果を上げていることが証明されており、ECW の設計とスピードは「実証済みモデル」と呼ばれています。これらの評価や結果をよく知る ODA の戦略的ドナーパートナーや民間セクターのパートナーは、ECW への資金を拡大しています。ドイツ政府は、ECW の最大の戦略的ドナーパートナーとして、また最も卓越した多国間リーダーの一員として、「ECW を信頼している」と宣言しています。

今年、ドイツはこれまでの支援に 2 億ユーロを追加して ECW の最大の戦略的ドナーパートナーとなりました。また、アメリカはイギリスに次いで ECW の第 3 の戦略的ドナーとして追加拠出を行いました。

すべての ODA 政府、民間セクターのパートナー、財団は、ドイツをはじめとする国々の後に続き、新たに多くの拠出をすることができます。その資金拠出は、質の高い教育を提供することを目指した、危機的な影響を受けた 42 以上の国への ECW による投資や、主催国政府・国連機関・市民社会・地元コミュニティの協働を支えることでしよう。

ウクライナからカメルーンまで、コンゴ民主共和国からパレスチナまで、アフガニスタンからコロンビアまで、そしてサヘル全域で、国連機関、市民社会、主催国政府、地域コミュニティが、緊急事態や長引く危機において、持続可能な開発目標 4（SDG 4：包括的、公平、継続した質の高い教育）に向けて共同プログラムを実施できるよう、的を絞った資金投入を行うことができるようになってきました。ご存知の通り、SDG4 は他のすべての持続可能な開発目標を達成するための基礎となる目標です。教育なしでは、どれも達成することはできません。SDG4 の優先順位を高くすることは、他のすべての SDGs を達成する可能性を高めることを意味します。

しかし、この変化をもたらす鍵は資金調達です。ECW のすべてのステークホルダーを代弁して、ユニセフのラッセル事務局長は次のように呼びかけています。「ユニセフは各国政府に対して、国内予算の 20% を教育に投じるよう求めています。また、紛争や危機の影響を受けた子どもたちや若者を含め、最も必要としているコミュニティに資金を投入するよう呼びかけています。そして、官民のドナーに対して、紛争の影響を受けている子どもたちのために結集するよう求めています。ECW は、数年という短い期間で、危機の影響を受けた何百万人もの子どもたちが質の高い教育を受けられるよう、その障壁を取り除くための支援を行ってきました。しかし、すべての子どもたちに支援を行き届かせるためには、持続的で柔軟な資金が必要です。」

#222MillionDreams キャンペーンは、実現不可能な夢に関するものではありません。最も取り残された 2 億 2,200 万人の子どもたちと若者のためのものです。彼らの緊急的なニーズと彼らが生まれながらに持つ権利に関するものです。彼らへの投資は選択肢の 1 つではありません。また、数ある優先事項の 1 つでもありません。私たちが人類の進歩のために自らを変えるには、妥協することができない必須事項です。

これは彼らの夢についてのものです。

なぜなら、彼らは私たちが残忍な紛争や気候変動を防げなかったという結果に耐えているからです。

なぜなら、彼らは難民・避難民キャンプで育っているからです。

なぜなら、彼らは世界の失敗がもたらす、心が砕かれるような痛みを感じているからです。

なぜなら、教育によって、彼らはこの状況を変えることができるからです。

—ヤスミン・シェリフ

教育を後回しにはできない基金（ECW） 事務局長

1) 報告書『攻撃される教育 2022』について

https://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=3922

【翻訳前の記事（英語）】

URL: <https://www.educationcannotwait.org/news-stories/directors-corner/222-million-dreams>